

平成27年7月5日
今週のベストショット



青松園B 新町パイレーツ 対 新町ウインズ戦

新町ウインズ四番藤田選手のバット一閃、右翼フェンス越えのHRと三塁打で好調パイレーツに勝利！

写真：大坪和則、八尋豊

青松園A ジャガーズ終盤追い上げるも・・・

塩浜ジャガーズ（1勝5敗）0000062 8 道喜●ー橋村

三苫ホーネッツ（5勝1敗）400311× 9 矢野○ー広木

HR：広木（三苫ホ） 2BH：稲葉（2）松尾（2）広木、山崎、永島（三苫ホ）荒木、田中、岩崎（塩浜ジ）

盗塁：山崎、稲葉、矢野、嶽崎（三苫ホ）

一回表、順調な立ち上がりを見せたホーネッツ矢野投手。その裏、ホーネッツ一番山崎選手がセンターへのヒットで出塁すると、すかさずスチールを決め無死二塁。続く稲葉選手の左中間への二塁打で早くも1点を先制。三番矢野選手はライトフライで倒れるものの、四番広木選手がレフトオーバーのHRで3点。この回打者9人の攻撃で4点をとり試合の主導権を握る。二・三回とお互い0を刻んだ四回の裏、代打中角選手がセンター前へヒットで出塁。二死後、一番山崎選手のバントヒットからの三連打でこの回3点を奪う。五回も1点を加えホーネッツの8対0で勝負ありかと思いきや六回表、ホーネッツのピッチャー交代（矢野投手→井手投手）が裏目となったか、ジャガーズの猛反撃が始まった。二番稲富選手がショートエラーで出塁すると、三番荒木選手の二塁打で二三塁。四番佐藤選手のサード内野安打で1点を返す。五番稗田選手のライト前ヒットで2点目。（ライトのエラーも絡み3点。）その後も攻撃の手を緩めず、打者11人の攻撃で6点を返す。七回にも代打水流選手の今期初となるヒット等で2点を返し1点差まで追いついたジャガーズだったが後1本が出ず、最後は何とか逃げ切ったホーネッツだった。（記事：奈多フェニックス 太田敏治、写真：安藤宏起）



チャンスに右飛に終わるジャガーズ佐藤選手。



順調な立ち上がりのホーネッツ矢野投手。



初回、先制の二塁打を放つ稲葉選手。



両軍、お疲れ様でした。

青松園B 緊迫した好ゲームを制したのはウインズ！

新町パイレーツ（4勝2敗）100000 1 吉田●-桐島

新町ウインズ（4勝2敗）103010X 5 藤田○-今林

HR：藤田（新町ウ） 3BH：白岩（新町パ）藤田、今林、桐島、永渕（新町ウ）

盗塁：安藤（一）2、永渕（新町ウ）

試合はウインズ藤田投手、パイレーツ吉田投手が先発で始まった。初回パイレーツは先頭の桐島選手が相手エラー、二番八坂選手と四番山本選手が死球で出塁し一死満塁とする。ここで三塁ランナー桐島選手がキャッチャーからの返球の間にホームを狙う、がタッチアウト！しかし、その後、藤田投手のWPで1点を先制。その裏ウインズは二死から三番今林選手がエラーで出塁すると四番藤田選手がライト線に大きな三塁打を放ち同点とする。三回表パイレーツは三番白岩選手がライト横に三塁打を放つが、あとが続かず得点できない。その裏ウインズは二番安藤（一）選手が死球で出塁し、三番今林選手がレフト線三塁打を放ち1点を追加。そして四番藤田選手が左中間フェンスを越える大きな2ランを放ち、この回ウインズは3点を追加。五回表パイレーツは二番八坂選手が右中間へのヒットで出塁すると三番白岩選手が死球で一死一二塁とチャンスとする。しかし、その後ダブルプレーに抑えられ得点することが出来なかった。五回裏、五番桐島選手がレフト線に三塁打を放つ。そして五番永渕選手がライト横に鋭い打球の連続三塁打で1点を追加する。そして六回裏時間切れでゲームセット。ウインズの勝利となった。結果としてウインズが差をつけての勝利となったが一つのきっかけで流れが変わりそうな緊迫した好ゲームだった。（記事：三友クラブ 駄原孝一郎、写真：大坪和則、八尋豊）



ウインズ先発の藤田投手。



パイレーツ先発の吉田投手。



一回表、ホームを狙うがタッチアウトのパイレーツ桐島選手。



一回裏、ライトへ三塁打を放つウインズ藤田選手。



二回表、ライト前ヒットを放つパイレーツ本堂選手。



二回表、犠牲バントを決めるパイレーツ大濱選手。



三回裏、三塁打を放つウインズ今林選手。



四回表、外野への打球を見守るパイレーツベンチ。



五回表、ヒットを放つパイレーツ八坂選手。



五回裏、三塁打を放ち滑り込むウインズ桐島選手。



五回裏、外野へ鋭い三塁打を放つウインズ永淵選手。



投打に活躍したウインズ藤田選手。

雁レク軟式3 未勝利対決で片目が開いたのは、レッドサンデーズ！！

レッドサンデーズ（1勝5敗）7 2 6 2 3 20 砂場○ー荒口

ソルトベイスターズ（6敗）0 3 2 0 0 5 中村（祐）、酒井●ー春田

HR：八島（レッド） 2BH：川原、田村、八島（レッド）

盗塁：江口、神田、荒口、壱岐、砂場（レッド）中村（祐）（ソルト）

一回表レッドサンデーズは、一番江口の内野安打を皮切りに、ソルトベイスターズのミス、ラッキーな当たりの内野安打やテキサスヒットなど7本の長短打を集中、ソルトベイスターズ先発の中村（祐）投手をわずか2／3イニングで引きずりおろし、急遽登板した二番手の酒井も攻め、打者12人の猛攻で7点を先制し、今までの鬱憤を晴らす。一方、一回裏のソルトベイスターズは、二番矢野、三番田中選手の連続内野安打でレッドサンデーズの先発砂場投手を攻めるも、四番春田選手がダブルプレーに打ち取られ、チャンスをモノにできない。レッドは、二回表も安打や盗塁をからめ、2点を追加。しかし、二回裏のソルトベイスターズは、五番荒尾の四球に始まり、六番石井、七番酒井、八番中村（祐）選手の三連打で1点を返し、さらに九番森選手もライト前に運ぶ。しかしレッドの八島右翼手が好プレイでライトゴロに抑え反撃を断つ。三回以降もレッドサンデーズの勢いは続き、終わってみれば16安打で毎回得点の20点。終盤には、代打のレッド田村選手がレフトオーバーの二塁打の後、四番八島選手が右中間へ2ランを放ち、初勝利に花を添える。ソルトベイスターズはベテランの活躍がありながら、守備のミスが響き大敗。初勝利は次回持越しとなる。昨夜からの雨で試合開催が心配されたが、グラウンド状況の悪い軟式4から急遽、軟式3へ変更した機転（配慮）があり、無事開催。しかし、グラウンド状況が現れた荒れた試合内容だった。（記事、写真：三苦三球会 渡邊航一郎）



球場を変更しての未勝利対決、勝つのはどちら？



完投勝利を挙げたレッドサンデーズ先発の砂場投手。



一回表、内野安打で出塁のレッド一番江口選手。



二番手酒井投手の球をうまく流し打つレッド川原選手。



当たりが出てきた？レッド五番前田選手。



渋い当たりを放つレッド八番壱岐選手。



投打で活躍レッド砂場選手。



久しぶりの大量得点に盛り上がるレッドベンチ。



孤軍奮闘のソルトベイズスターズ酒井選手。



心配そうに見つめるソルトベンチ。



5人目の内野手？



本日2つのライトゴロを捌くレッド八島右翼手。



勝利の立役者、好投で初勝利の砂場投手（左）、代打で二塁打のプリティ田村選手（中央）、4打数4安打1HR4打点の八島選手（右）。

奈多グラウンド 好投手二人による試合の行方は…

奈多サンデーズ（4勝1敗1分） 1 2 0 0 0 0 3 塚本△ー長浜

奈多クラブ （3勝1敗2分） 2 0 1 0 0 0 3 今林（瑠）△ー高瀬

3BH：馬場口（奈多ク） 2BH：今林（瑠）（奈多ク） 盗塁：川上、長濱、宮口、野田（奈多サ）

奈多サンデーズは初回、先頭の川上選手が四球で出塁すると、一死三塁から三番長濱選手の右前安打により1点を先制する。その裏、奈多クラブは先頭の今林（賢）選手が内野安打により出塁すると続く今林（瑠）選手のセンターオーバーの二塁打、三番今林（祐）選手の左前安打により2点を返し逆転。しかし、二回表奈多クラブは、制球難に苦しむ先発の今林（瑠）投手が攻められ四球や暴投などで2点を奪われ、逆転を許してしまう。三回表、追加点が欲しいサンデーズ。好機で田中（孝）監督はタイトル獲得経験のある木下選手、田中（俊）選手を続けて代打で起用するも、調子の上ってきた今林（瑠）投手によってこの回は0点に封じ込められる。するとその裏奈多クラブは先頭の今林（瑠）選手が中前安打で出塁すると、四番馬場口選手の左中間を破る三塁打で同点！ここからは両チームとも得点の好機は作るものの、得点を挙げるには至らず3-3の引き分け。両チームともに惜しまれる一戦であった。（記事、写真：雁ノ巣ライナーズ 明瀬 旭）



奈多クラブ先発の今林瑠生投手。



奈多サンデーズ先発の塚本投手。



先制適時打を放ったサンデーズ三番長浜選手。



一回裏、勝ち越しの左前適時打を放つ今林祐将選手。

第11週編集後記

WSLの皆さん、コンニチハ！

第10週、7月5日は4試合が行われました。

青松園Aの塩浜ジャガーズ対三苦ホーネッツ戦は、ホーネッツの一方的な展開だったが、矢野投手から井手投手に代わって、ジャガーズ打線が目覚め、六回表に一挙6点、七回にも2点を挙げるものの、あと1点届かず8-9で辛くもホーネッツの勝利。ジャガーズは大逆転での2勝目はならなかった。

青松園Bの新町パイレーツ対新町ウインズ戦は、1-1で迎えた三回裏、ウインズ四番藤田選手の右越え3ランで勝ち越すと、五回裏にも五番永淵選手のタイムリーで1点を挙げ、投げてはウインズ藤田投手がパイレーツ打線を4安打に抑え、1-5でウインズ快勝。ウインズは全7安打中5安打が三塁打以上でパイレーツを圧倒した。

雁レク軟式3のレッドサンデーズ対ソルトベイスターズ戦の未勝利対決は、一回表からレッド打線がたまっとうっぷんを吐き出すかのように爆発。7点を先制すると、毎回の16安打20得点。投げては二回目の先発の砂場投手が5失点ながら完投で初勝利を挙げた。その砂場投手が打っては3打数3安打、四番八島選手も4打数4安打1HR、代打で登場の田村選手が初ヒットの中越え二塁打を放つなど盛り上がったが、三番神田選手だけが無安打だった。

奈多グラウンドの奈多サンデーズ対奈多クラブ戦は、請求の定まらない奈多クラブ先発の今林瑠生投手から3点を取ったサンデーズに対し、奈多クラブ打線は初回からサンデーズ塚本投手に三連打、三回裏には四番馬場口選手のタイムリー三塁打で同点。一進一退の攻防は両者譲らず3-3のドロウ。実力チーム同士が足踏みをする形となった。

夏の甲子園出場を狙う福岡県予選も3回戦が終了し、本日県大会（ベスト16）出場を懸けて試合が行われま

す。
2013年の第95回大会から、北九州都市圏にも属する宗像市・福津市とその近郊の古賀市・糟屋郡の10校が北部に移設され、北部65校、南部70校となりました。それを南部北部それぞれAからHの8つのパートに分け、それぞれのパートのトップが県大会進出となります。

皆さん新聞等で母校の活躍に一喜一憂していることでしょう。

私の母校、福岡高校も県立高校でありながら、シード校の八女高校に0-1Xのサヨナラで勝利し、本日の試合に臨みます。応援に行きたい・・・。

facebookなどのSNSでも母校や息子の高校の活躍を挙げている人も多そうですね。

今年はどこが甲子園の土を踏むでしょうか？

今年97周年の全国高校野球選手権大会（夏の甲子園）では、7月中旬より大会歌の「栄冠は君に輝く」のダンスバージョンを放映する予定です。

http://www.asahi.com/koshien/articles/ASH786JFYH78PTIL029.html

踊る高校生たちの背番号が19なのは、県予選は20人ベンチ入り出来ますが甲子園は18人しかベンチ入りできない（背番号を貰えない）からだと思います。

そういえば、週刊少年マガジンで好評連載中の「ダイヤのA」（寺嶋裕二著・講談社）の主人公・沢村栄純も最初は背番号20でした。

https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%80%E3%82%A4%E3%83%A4%E3%81%AEA

アニメでは、今はセンバツを懸けた秋の大会で背番号18ですね。

「巨人の星」「ドカベン」「タッチ」「メジャー」など人気の名作野球漫画を楽しむのもいいですが、生で高校生の汗や涙を観に行くのもいいものですよ。

ソフトボールでは、乃木坂46主演で「初森ベマーズ」という番組が福岡では明日深夜から始まるようです。